

5 レーダーチャートの作成方法

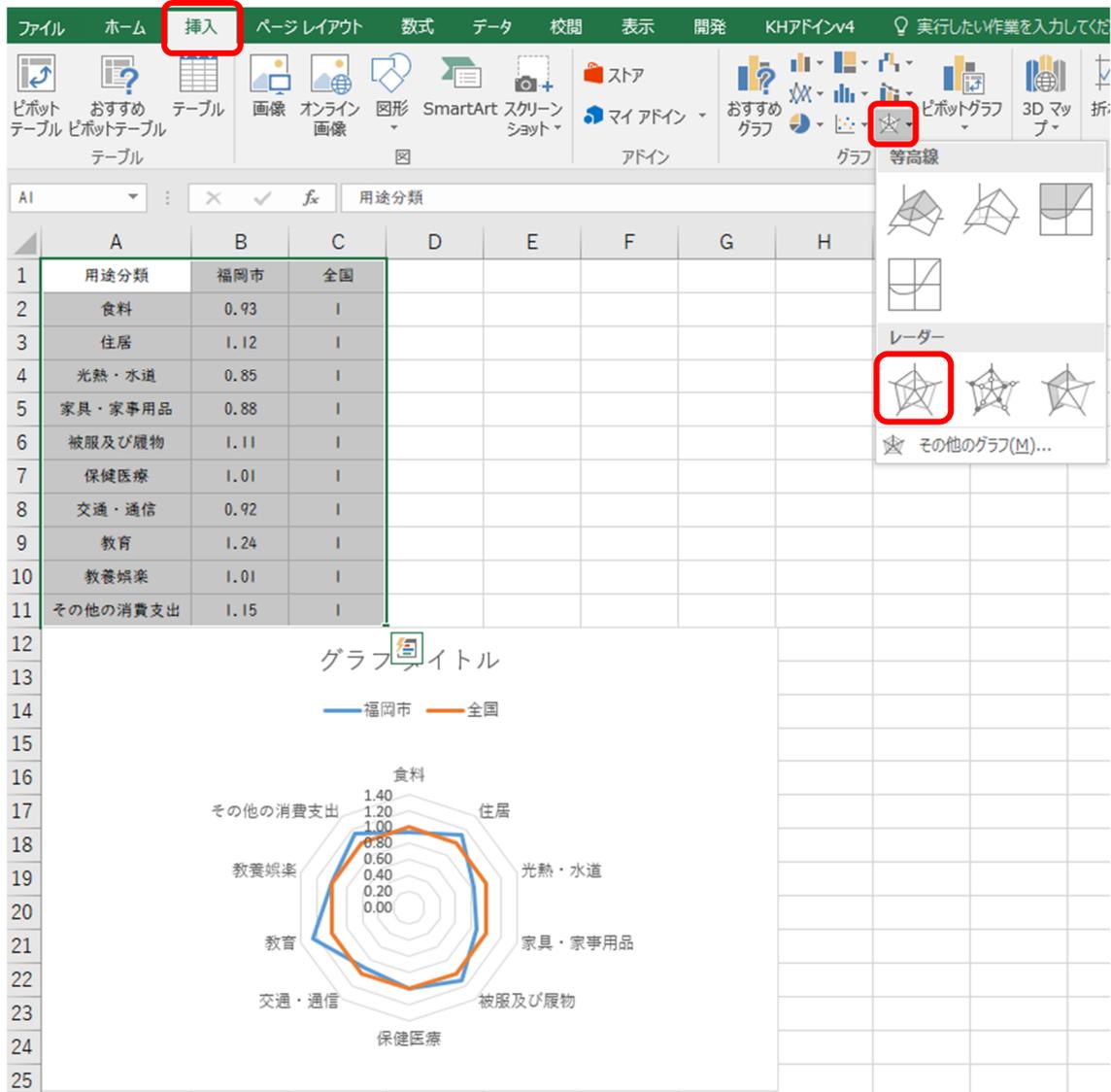
ここでは、家計調査の結果を使って、福岡市の用途分類別支出金額の特化係数を、エクセルを使ってレーダーチャートで表します。

※ 特化係数とは、ある市の用途分類別支出金額の構成比を全国の平均的な構成比と比較することで、その市がどの用途の支出に特化しているのかを示す指標です。

ある市の用途分類別の支出金額の構成比を全国の平均的な構成比で割れば算出できます。計算式は以下のとおり。

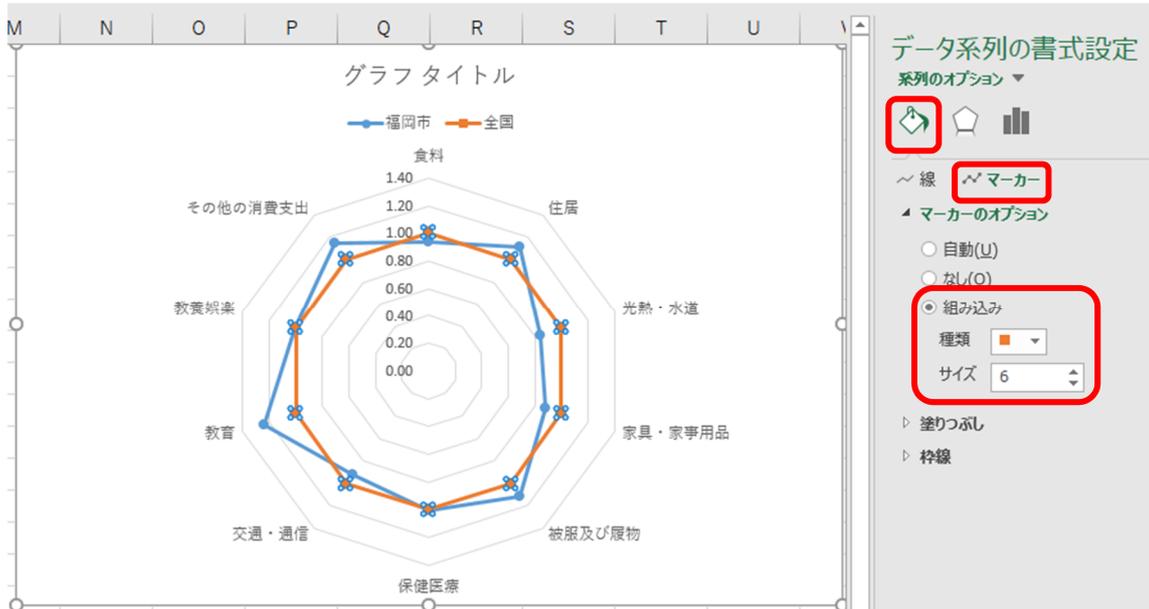
$$A \text{ 市 } X \text{ 用途の支出特化係数} = \frac{A \text{ 市の } X \text{ 用途の支出金額}}{A \text{ 市の総支出金額}} \div \frac{\text{全国の } X \text{ 用途の支出金額}}{\text{全国の総支出金額}}$$

(1) 対象範囲 (A1セルからC11セルまで) を選択し、「挿入」タブの「グラフ」欄から「等高線グラフまたはレーダーチャートの挿入」→「レーダー」と選択すると、自動的にグラフの大枠が作られます。

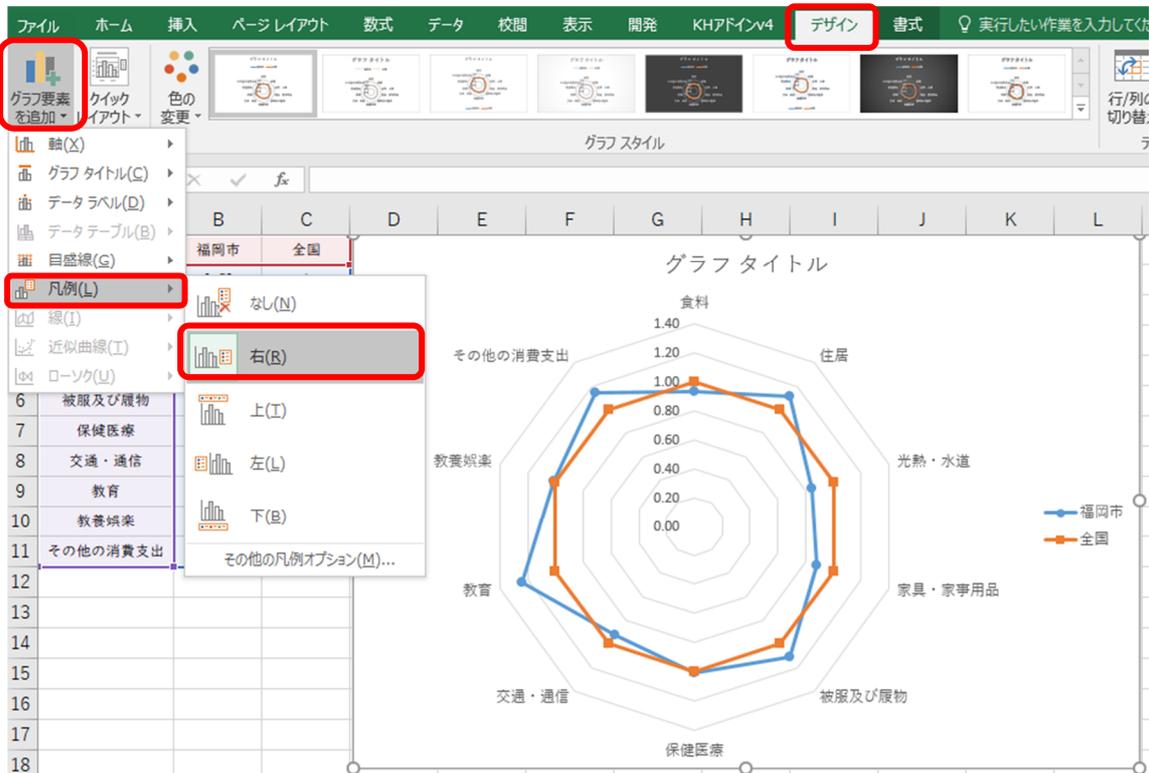


(2) 複数の項目をレーダーチャートで表す場合には、白黒で印刷しても、区別ができるよう、マーカーを付けたり、凡例を表示したりすることが有効です。

マーカーはそれぞれの線の上で右クリックし、「データ系列の書式設定」→「マーカーのオプション」欄から「組み込み」を選択し、マーカーの種類を選択します。



凡例は、グラフを選択したうえで、「デザイン」タブの「グラフ要素を追加」から「凡例」→「右」を選択すると、グラフの右に凡例が表示されます。凡例は、ドラッグしてグラフ内の任意の場所に表示することが可能です。



(3) グラフタイトルを変更したい場合は、現在のタイトル「グラフタイトル」を右クリックし、「テキストの編集」からタイトル名を変更します。



(4) 完成

下図から、福岡市は全国と比べて教育関係の支出に特化していることがわかります。

